

# パンタナル通信

南北米福地開発協会

会報

2013年11月1日

122号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

## 南北米福地開発協会アメリカ支部集会



### 南北米福地開発協会アメリカ支部集会

九月二十八日、アメリカ、ニューヨークにおいて、南

北米福地開発協会 松田事務局長の招待で今年、日本で企画した国際協力青年奉仕隊の活動をアメリカ在住の会員の方と賛同者を集めて、報告会を計画し、青年奉仕隊の責任者である柴沼邦彦氏が講演をしました。参加者の中にはアメリカの大学で教鞭をとっている教授も参加し、講演を聞いた後、来年のパラグアイへの青年奉仕隊には大学の学生も是非、参加させたいので具体的に検討したいと話をしておりました。

また、アメリカで会社を経営する社長は今後、できる限り支援をしていきたい旨を表明してくれました。アメリカは奉仕に対しては、日本以上に活発で、今後、日本からだけでなく、アメリカからも南米にできるだけの支援を進めていくため、南北米の会員となつてくださるよう働きかけたところ、即座に八名の方が会員となつてくださりました。その後も講演に参加した方から八名郵送で入会願書が送られて来たとのことでした。会員は今のところ、日本人が中心になっていますが今後、アメリカでの活動を活性化するため、英文の案内書や啓蒙のための日本版の映像を英語のナレーションのDVDを作ることアメリカ支部で決定しました。

現在、ニューヨーク、ニュージャージーが中心ですがロセアンゼルスでも会員になりたいとのメールが来ているとのことで、南北米のパラグアイでの活動に関心を持ち、支援の輪が広がりつつあります。環境保護と貧困対策は先進国の支援が必須ですのでアメリカでの会員の拡大に期待しています。





# ブラジルとパラグアイで活躍する韓国の青年リーダー、レダ訪問。

昨年、国際協力青年奉仕隊は日本とパラグアイの青年が一緒に活動し、今年はブラジルの青年とともにパラグアイの過疎地の村での奉仕をしました。そのことに感銘した現地在住の韓国の青年指導者が支援を申し出、現地の視察をしました。

レダの中田所長は現場を案内しながら詳しくプロジェクトの現状を報告し、プロジェクトの推進のため、必要な支援の要請をしました。レダ訪問をしてきた飯野会長も合流し、経済的な支援だけでなく、人的な支援の重要性を強調し、二人の韓国の青年リーダーも努力することを約束していました。

主に、今までは日米の南北米福地開発協会からの人的、経済的支援で行ってきましたが、ここ十四年の実績が日米のみならず韓国の方が支援に具体的に参与してくれるようになってきました。

また、今後、ブラジル、パラグアイに移住して活躍する日系人の方やパラグアイで活躍するアメリカ、ドイツ、スペイン等のNGOからの協力も得られるようアスンション事務局を担当する中井氏が各機関にコンタクトをとることになっています。



第一船着場付近の土手のかぼちゃも、よく育っている。

サボテンの花  
(夜に咲く月下美人)

野生の猪も赤ちゃんから育てれば、人になつき、犬の友達です。



# 飯野南北米福地開発協会会長夫妻、8か月ぶりレダ訪問



写真左：レダ滞在者と記念撮影の飯野夫妻  
写真上：サッカー熱の高い労働者一人一人に、日本からのお土産として、欧州プロサッカー選手のユニホーム上下を贈呈、大変喜ばれました。



タロイモ水耕栽培の説明を聞く

ピーマンやシシトウの収穫

激辛の鷹の爪



## ディアナとバイアネグラ訪問

左：青年奉仕隊が植樹したニームの街路樹  
右：ディアナの校長（中央）と歓談



バイアネグラ海軍基地の鐘

甘える海軍の犬

バイアネグラに植樹した街路樹





パラグアイ副大統領が中井アスンション事務局長と南北米福地開発財団の理事たちと交流の場を持った。(2013年9月18日)



2013.09.16

九月十八日、朝副大統領府の秘書から連絡が入り、十一時に副大統領官邸に来てほしいとのことで急ぎ準備して、財団理事のオットマー氏とドクター・ハコブに連絡を取り会見に行きました。

受付で待っていると、故弁護士ウインさんの夫人マリア・アントニヤさんも入ってきて、彼女と一緒に会見に臨みました。副大統領は既にレダのことについては良く知っているようでした。私の方から今回の青年奉仕隊の報告とレダのプロジェクトに関して写真を見せながら説明しました。カルテス大統領も政策の一つに貧困撲滅を掲げていて、その中でもインディヘナへの対策も重要な課題であるので、政府と色々協力できたら良いといっていました。そして我々がその地域に実際に住んで活動していることをとても賞賛してくれました。

今まで色々な団体・政府が援助してきたが、物や金を送るだけで、写真を撮って、それで終わっていること。継続していかないこと。更にはそのように送られてきたものが本当にインディヘナの手にも届かずにどこかで消えていることなどを嘆いていました。

是非一度レダの地に来てくださいと招待しました。副大統領も今すぐではないけれど一度是非行きたいと言ってくれました。そのときには農牧大臣とインディの会長も連れて行きたいと言っていました。

最後に今回青年奉仕隊に会えなかったのも、彼らに何かメッセージをと、お願いしました。

副大統領の色紙の内容…

皆さんの訪問に対して、そして皆さんがパラグアイの地で発展させている仕事に対して

本当に感謝しています。

私の国にいつでも大歓迎します。ありがとうございます。

ファン・アフアラ副大統領

地球家族として

自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員の募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて

生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを

訴えています。会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001  
神奈川県川崎市高津区  
溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話 044-829-2821  
F a x 044-829-2820

会費納入 郵便口座  
10180-77680471

E-MAIL : office@asd-nsa.jp  
ホームページ : http://www.asd-nsa.jp